

令和5年度シラバス（1年生用）

教科	数学科		科目	数学Ⅰ	単位数	3
学年	1 年生	コース	共通			
使用教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）					
副教材等	教科書傍用 3 T R I A L 数学Ⅰ + A（数研出版）					
	教科書傍用 クリアー数学Ⅰ + A（数研出版）					

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数 学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け る。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認 識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に 表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的 論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の課程を振り返って考察を深めたり、 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点 の趣旨と定 期考查の配 点基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数と式、図形と計量、 二次関数及びデータの分 析についての基本的な概 念や原理・法則を体系的 に理解し、事象を数 学化したり、数学的に解釈し たり、数学的に表現・処 理したりする技能が身に 付いている。 定期考查の配点基準（目安） 60 %	数や式を多面的にみた り目的に応じて適切に変 形したりする力、図形の 性質や計量について論理 的に考察し表現する力、 事象を的確に表現してそ の特徴を表、式、グラフ を相互に関連付けて考察 する力、社会の事象など から設定した問題につい て、適切な手法を選択し て分析を行い、問題を解 決したり、解決の課程や 結果を批判的に考察し判 断したりする力が身に付 いている。 定期考查の配点基準（目安） 40 %	数学のよさを認識し積 極的に数学を活用たり、粘 り強く考え数学的論拠に 基づいて判断しようとし たり、問題解決の課程を振 り返って考察を深めたり、 評価・改善したりしようと している。

2 学習計画と評価方法

学 期	単元	主な学習活動	考 査 範 囲
1 学 期	数と式	・実数、簡単な無理数の四則演算 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式 ・不等式の性質、一次不等式の解 ・式を多面的に捉えたり適切に変形したりする ・一次不等式を解く方法を考察する ・一次不等式を問題解決に活用する	中 間 考 査
	二次関数	・二次関数の値の変化、グラフの特徴 ・二次関数の最大値や最小値	期 末 考 査
2 学 期	二次関数	・二次方程式の解と二次関数のグラフ、二次不等式の解 と二次関数のグラフ ・二次関数の式とグラフの関係を多面的に考察する ・事象を数学的に捉え問題を解決する	中 間 考 査
	図形と計量	・鋭角の三角比と相互関係 ・鈍角の三角比 ・正弦定理，余弦定理 ・要素間の関係を定理や公式として導く ・事象を数学的に捉え問題を解決する	期 末 考 査
3 学 期	データの分析	・分散、標準偏差、散布図、相関係数 ・データを表やグラフに整理、基本的な統計量を求める ・仮設検定の考え方 ・散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する ・データを収集、分析、特徴を表現する ・主張の妥当性を判断し、批判的に考察する	学 年 末 考 査
各学期の観点別学習状況の評価の方法 知識・技能＝定期考查及び授業内で行う小テストなど 思考・判断・表現＝定期考查及び授業内で行う小テスト、グループ活動 主体的に学習に取り組む態度＝提出物、レポート、発表など 学年末の評価 各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			

